

【担当者名】 池森 康裕 sr528@hoku-iryo-u.ac.jp 高橋 由紀 鈴木 真人

【概要】

入所施設の役割と機能、施設利用者とその家族の生活ニーズを理解し、専門科目で得た基本的な知識・技術を、実習を通じて実践するための具体的な方法について学ぶ。

個々の学生が持つ関心対象や疑問・不安などに焦点をあて、自信を持って実習に望めるようになる。

【学修目標】

1. 入所施設の概要と利用者の生活像を整理・理解でき、介護福祉士としての役割を明確化できる。
2. 他者理解に必要な基本的コミュニケーション方法やマナーを習得する。
3. 実習のイメージを膨らませ、自身の目標や学習課題を言語化・明確化できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	実習の意義と目的、実習の構成、実習で何を学ぶか、事前学習への取り組み、個人調査票を記入する。	池森
2	実習施設の理解	介護老人保健施設の特徴と、施設生活をおくる利用者の自立支援方法についてを学ぶ。障がい者のQOL向上と、自立支援を目指した介護の知識と技術を習得する。	池森
3	実習施設の理解	障がい者支援施設の特徴と、施設生活をおくる利用者の自立支援方法についてを学ぶ。障がい者のQOL向上と、自立支援を目指した介護の知識と技術を習得する。	池森
4	実習施設の理解	分野別対象者理解、個人課題に沿った事前学習。実習施設の理解、施設の役割・機能・関係法規など、実習課題の検討 生活支援技術の確認。	池森
5	倫理について	事例をもとに介護職に求められる倫理観を理解する。	池森
6	記録の理解	客観的事実を記録する必要性の理解及び適切な記録方法の習得。観察ポイントと表現方法を理解する。	池森
7	コミュニケーションスキルについて	円滑な人間関係を構築するためのスキルを習得する。実習生に求められる態度などロールプレイを行う。	池森
8	カンファレンスの理解	カンファレンスの方法、目的より効果的なカンファレンスを行うためにグループワークにて検討。	池森 高橋 鈴木
9	実習課題と実習計画（Aクラス）	学生自身の実習課題の作成と達成可能な実習計画を立案する。	池森
	実習課題と実習計画（Bクラス）	学生自身の実習課題の作成と達成可能な実習計画を立案する。	高橋
	実習課題と実習計画（Cクラス）	学生自身の実習課題の作成と達成可能な実習計画を立案する。	鈴木
10	事前訪問（Aクラス）	施設訪問、実習課題提出 実習の留意事項。	池森
	事前訪問（Bクラス）	施設訪問、実習課題提出 実習の留意事項。	高橋
	事前訪問（Cクラス）	施設訪問、実習課題提出 実習の留意事項。	鈴木
11	実習の振り返り（Aクラス）	体験事例をもとに実習の振り返り課題の共有化、報告会準備。	池森
	実習の振り返り（Bクラス）	体験事例をもとに実習の振り返り課題の共有化、報告会準備。	高橋
	実習の振り返り（Cクラス）	体験事例をもとに実習の振り返り課題の共有化、報告会準備。	鈴木
12	実習の振り返り（Aクラス）	体験事例をもとに実習の振り返り課題の共有化、報	池森

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		告会準備。	
	実習の振り返り（Bクラス）	体験事例をもとに実習の振り返り課題の共有化、報告会準備。	高橋
	実習の振り返り（Cクラス）	体験事例をもとに実習の振り返り課題の共有化、報告会準備。	鈴木
13	実習の振り返り（Aクラス）	体験事例をもとに実習の振り返り課題の共有化、報告会準備。	池森
	実習の振り返り（Bクラス）	体験事例をもとに実習の振り返り課題の共有化、報告会準備。	高橋
	実習の振り返り（Cクラス）	体験事例をもとに実習の振り返り課題の共有化、報告会準備。	鈴木
14	実習の振り返り（Aクラス）	体験事例をもとに実習の振り返り課題の共有化、報告会準備。	池森
	実習の振り返り（Bクラス）	体験事例をもとに実習の振り返り課題の共有化、報告会準備。	高橋
	実習の振り返り（Cクラス）	体験事例をもとに実習の振り返り課題の共有化、報告会準備。	鈴木
15	実習のまとめ（Aクラス）	実習評価「介護福祉実習」に向けて課題の整理、実習報告書作成。	池森
	実習のまとめ（Bクラス）	実習評価「介護福祉実習」に向けて課題の整理、実習報告書作成	高橋
	実習のまとめ（Cクラス）	実習評価「介護福祉実習」に向けて課題の整理、実習報告書作成。	鈴木

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

事前・事後学習への取り組みなど40% 介護実習報告会評価30% 実習報告書30%

なお、評価に関しては複数の実習担当教員の合議により行う。

【教科書】

特に使用しない

【参考書】

介護福祉士養成講座編集委員会（編）：最新・介護福祉士養成講座10『介護総合演習・介護実習 第2版』中央法規 2022

【備考】

この科目は介護福祉士国家試験受験資格取得のための「介護総合演習」に該当する。

【学修の準備】

1. 特別養護老人ホームの特徴について調べておくこと。（予習）
2. 介護老人保健施設の特徴について調べておくこと。（予習）
3. 障がい者支援施設の特徴について調べておくこと。（予習）
4. 基本的な生活支援技術を復習しておくこと。（復習）
5. 実習先となる近隣の福祉施設について確認すること。（復習）
予習：2時間 復習：2時間

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2. 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1. 人間の生命および個人の尊厳を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP3. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門職領域において自律的・創造

的に実践する能力を身につけている

DP4.保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている

【実務経験】

池森 康裕（介護福祉士・社会福祉士）、高橋 由紀（介護福祉士）、鈴木 真人（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床および地域での介護分野の専門職としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。